【授業科目】精神看護学演習Ⅰ（援助技術）Advanced Seminar of Mental Health and Psychiatric Nursing I

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
大西 信行	1年次 前期	選択	2	60	演習	巻末掲載

授業概要 （内容と進め方） 及び 課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	メンタルヘルスケア及び精神看護学領域における理論や方法論を基盤として、心の健康を支援するための看護アプローチについて探究する。演習を通して精神機能の評価方法やアセスメント技術を高め、看護アプローチを効果的に実施できる援助技術について考察し、個人・家族・集団に対するメンタルヘルスケア及び精神看護方策の立案・評価能力を養う。授業は実務家教員（大西）が進める。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／討議、プレゼンテーションを通して、ピアおよび教員からコメントを行う。
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー①③④の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達すべき目標）	1. メンタルヘルスの問題を抱える対象を、理論的モデルの枠組みや評価尺度を用いてアセスメントできる。 2. 対象の精神状態のアセスメントおよび個人対個人、集団における関係についてアセスメントし、効果的な援助技術を活用できる能力を修得する。 3. アセスメントに基づき、看護アプローチを効果的に実施できる具体的方法、援助技術について考察し、個人・家族・集団に対するメンタルヘルスケア及び精神看護方策の立案・評価ができる。
時間外学習に 必要な 内容・時間	事前に指定された資料や文献に目を通しておく（各1時間）。 講義内容についての演習計画を立案する（2時間） 演習計画に基づいて臨床で実施し、そのプロセスをまとめ、評価を行う（各2時間）。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習１時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	1.～4. メンタルヘルス及びメンタルヘルス不調に対する援助 ・ メンタルヘルスの理解 ・ 疾病、病状の理解 5.～10. アセスメント ・ 地域、在宅、産業場面、臨床におけるアセスメント ・ 評価尺度、評価方法の選定 11.～15. アプローチの理論の活用と実際 ・ 個人及び家族や集団に対し効果的なアプローチの方法を選択し実施する（プレゼンテーション） 16.～19. アセスメントの分析・検討 ・ 精神看護学特論で学んだ理論的枠組みや評価尺度を用いて実施した看護援助に対してアセスメントの分析・検討を行う ・ 集団スーパービジョン ・ 個別スーパービジョン（担当教員からスーパービジョンを受ける） 20.～26. メンタルヘルス不調、精神疾患およびそれらに関連した問題や課題に対する援助、方策 ・ プログラム評価 ・ グループ療法、認知行動療法、心理教育など 27.～30. 看護実践の立案、評価・まとめ ・ アセスメントに基づく具体的看護アプローチの立案 ・ アセスメントの目的にあう評価尺度の選定と評価
	全て 大西
評価方法 評価基準	授業参加態度、プレゼンテーション、レポートなどを合わせて総合的に評価する。

教科書	なし	参考書等	配付資料 参考文献についてはその都度提示する。